

特定の職種及び作業に係る技能実習制度運用要領-介護職種の基準について-の一部改正について

令和6年7月1日

標記運用要領について、下記のとおり必要な改正を行いましたので、主なものを公表いたします。

記

赤字下線が修正部分

通し番号	該当ページ (改正版要領)	該当行	現行	改正後
1	P20	①技能等の 修得等に係 る実績	項目欄 I 過去3技能実習事業年度の初級程度の介護技能実習評価試験等(他職種の技能実習評価試験も含む。)の学科試験及び実技試験の合格率(旧制度の基礎2級程度の合格率を含む。) <u>(新設)</u>	項目欄 I 過去3技能実習事業年度の初級程度の介護技能実習評価試験等(他職種の技能実習評価試験も含む。)の学科試験及び実技試験の合格率(旧制度の基礎2級程度の合格率を含む。) <u>* 当面の間、新型コロナウイルス感染症に関する水際対策に係る日本への入国制限の影響を受け、令和2年度又は令和3年度に入国した技能実習生がおらず、初級程度の介護技能実習評価試験等(他職種の技能実習評価試験も含む。)の学科試験及び実技試験の受検実績がない場合は、実績がない年度に応じ、更に過去の年度に遡って実績を記載することができる。</u> <u>なお、当該取扱いにより本来の実績に比べ点数が低くなってし</u>

通し番号	該当ページ (改正版要領)	該当行	現行	改正後
			配点欄 (略) 項目欄 Ⅱ 過去3技能実習事業年度の専門級・上級程度の介護技能実習評価試験等(他職種の技能実習評価試験も含む。)の実技試験の合格率 ＜計算方法＞ 分母:技能実習生の <u>2</u> 号・<u>3</u> 号修了者数 うちやむを得ない不受検者数 +旧制度の技能実習生の受検者数 分子:(専門級合格者数+上級合格者数×1.5)×1.2 * 旧制度の技能実習生の受検実績について、施行日以後の受検実績は必ず算入。 <u>(新設)</u>	<u>もう場合には、本来の直近3技能実習事業年度の実績を記載しても差し支えない。</u> 配点欄 (略) 項目欄 Ⅱ 過去3技能実習事業年度の専門級・上級程度の介護技能実習評価試験等(他職種の技能実習評価試験も含む。)の実技試験の合格率 ＜計算方法＞ 分母:技能実習生の <u>2</u> 号・<u>3</u> 号修了者数 うちやむを得ない不受検者数 +旧制度の技能実習生の受検者数 分子:(専門級合格者数+上級合格者数×1.5)×1.2 * 旧制度の技能実習生の受検実績について、施行日以後の受検実績は必ず算入。 <u>* 当面の間、新型コロナウイルス感染症に関する水際対策に係る日本への入国制限の影響を受け、令和2年度又は令和3年度に入国した技能実習生がおらず、専門級・上級程度の介護技能実習評価試験等(他職種の技能実習評価試験も含む。)の実技試験</u>

通し番号	該当ページ (改訂版要領)	該当行	現行	改正後
			* 上記の計算式の分母の算入対象となる技能実習生がいない場合は、過去3技能実習事業年度には2号未修了であった者の申請日時点の専門級程度の介護技能実習評価試験等(他職種の技能実習評価試験も含む。)の実技試験の合格実績に応じ、右欄のとおり加点する。	<u>験の受検実績がない場合は、実績がない年度に応じ、更に過去の年度に遡って実績を記載することができる。</u> <u>なお、当該取扱いにより本来の実績に比べ点数が低くなってしまう場合には、本来の直近3技能実習事業年度の実績を記載しても差し支えない。</u> * 上記の計算式の分母の算入対象となる技能実習生(上記*の特例を含む。)がいない場合は、過去3技能実習事業年度には2号未修了であった者の申請日時点の専門級程度の介護技能実習評価試験等(他職種の技能実習評価試験も含む。)の実技試験の合格実績に応じ、右欄のとおり加点する。
2	P32	②介護職種における技能等の修得等に係る実績	項目欄 I 過去3技能実習事業年度の初級の介護技能実習評価試験の学科試験及び実技試験の合格率 <u>(新設)</u>	項目欄 I 過去3技能実習事業年度の初級の介護技能実習評価試験の学科試験及び実技試験の合格率 <u>* 当面の間、新型コロナウイルス感染症に関する水際対策に係る日本への入国制限の影響を受け、令和2年度又は令和3年度に入国した技能実習生がおらず、初級の介護技能実習評価試験の学科試験及び実技試験の受検実績がない場合は、実績がない年度に応じ、更に過去の年度に遡って実績を記載することができる。</u> <u>なお、当該取扱いにより本来の実績に比べ点数が低くなってしまう場合には、本来の直近3技能実習事業年度の実績を記載し</u>

通し番号	該当ページ (改正版要領)	該当行	現行	改正後
			配点欄 (略) 項目欄 Ⅱ 過去3技能実習事業年度の専門級、上級の介護技能実習評価試験の実技試験の合格率 <計算方法> 分母:技能実習生の2号・3号修了者数 ーうちやむを得ない不受検者数 分子:(専門級合格者数+上級合格者数×1.5)×1.2 <u>(新設)</u>	<u>ても差し支えない。</u> 配点欄 (略) 項目欄 Ⅱ 過去3技能実習事業年度の専門級・上級の介護技能実習評価試験の実技試験の合格率 <計算方法> 分母:技能実習生の2号・3号修了者数 ーうちやむを得ない不受検者数 分子:(専門級合格者数+上級合格者数×1.5)×1.2 <u>* 当面の間、新型コロナウイルス感染症に関する水際対策に係る日本への入国制限の影響を受け、令和2年度又は令和3年度に入国した技能実習生がおらず、専門級・上級の介護技能実習評価試験の実技試験の受検実績がない場合は、実績がない年度に応じ、更に過去の年度に遡って実績を記載することができる。</u> <u>なお、当該取扱いにより本来の実績に比べ点数が低くなってしまう場合には、本来の直近3技能実習事業年度の実績を記載しても差し支えない。</u>

通し番号	該当ページ (改正版要領)	該当行	現行	改正後
			配点欄 (略)	配点欄 (略)
3	介護参考 様式第 11号(告 示第5条 第2号関 係)	2 介護職 種における 技能等の修 得等に係る 実績 I	① 分母 第1号修了者____名－やむを得ない不受検者____名＝ ____名 ※受検技能実習生名簿(参考様式第2－14号別紙2)及びやむ を得ない不受検者名簿(参考様式第2－14号別紙3)を添付する こと。 <u>(新設)</u>	② 分母 第1号修了者____名－やむを得ない不受検者____名＝ ____名 ※受検技能実習生名簿(参考様式第2－14号別紙2)及びやむ を得ない不受検者名簿(参考様式第2－14号別紙3)を添付する こと。 <u>□ 新型コロナウイルス感染症に関する水際対策に係る日本への 入国制限の影響により、当該年度における実績がなく、更に過去 の年度に遡って実績を記載する場合は、左記□にチェックを入 れた上で、記載した実績の年度を下記のカッコに記載すること。</u> <u>(____年度／____年度／____年度)</u>
4		2 介護職 種における 技能等の修 得等に係る 実績 II	① 分母 計____名(A+B) A 第2号修了者 第2号修了者____名－やむを得ない不受検者____名＝ ____名 B 第3号修了者数____名－やむを得ない不受検者 ____名＝____名	① 分母 計____名(A+B) A 第2号修了者 第2号修了者____名－やむを得ない不受検者____名＝ ____名 B 第3号修了者数____名－やむを得ない不受検者 ____名＝____名

通し番号	該当ページ (改正版要領)	該当行	現行	改正後
			※A及びBそれぞれについて、受検技能実習生名簿(参考様式第2-14号別紙2)及びやむを得ない不受検者名簿(参考様式第2-14号別紙3)を添付すること。 <u>(新設)</u>	※A及びBそれぞれについて、受検技能実習生名簿(参考様式第2-14号別紙2)及びやむを得ない不受検者名簿(参考様式第2-14号別紙3)を添付すること。 <u>□ 新型コロナウイルス感染症に関する水際対策に係る日本への入国制限の影響により、当該年度における実績がなく、更に過去の年度に遡って実績を記載する場合は、左記□にチェックを入れた上で、記載した実績の年度を下記のカッコに記載すること。</u> (年度 / 年度 / 年度)
5		2 介護職種における技能等の修得等に係る実績 Ⅲ	① 専門級又は上級の学科試験の合格者 <u>計 名</u> ※受検技能実習生名簿(参考様式第2-14号別紙2)を添付すること。 ② 合格者を輩出した実習実施者 <u>計 実習実施者</u>	① 専門級又は上級の学科試験の合格者 <u>(無・有)</u> ※受検技能実習生名簿(参考様式第2-14号別紙2)を添付すること。 ② 合格者を輩出した実習実施者 <u>(なし・1実習実施者・2実習実施者以上)</u>
6	介護参考様式第12号(規則第15条関係)	1 技能等の修得等に係る実績 I	① 分母 計 名(A+B) A 現行制度 第1号修了者 名 — やむを得ない不受検者 名 = 名 B 旧制度 第1号修了者 名 — やむを得ない不受検者 名 = 名 ※直近3技能実習事業年度(4月1日～翌年3月 31 日)に申	① 分母 計 名(A+B) A 現行制度 第1号修了者 名 — やむを得ない不受検者 名 = 名 B 旧制度 第1号修了者 名 — やむを得ない不受検者 名 = 名 ※直近3技能実習事業年度(4月1日～翌年3月 31 日)に申

通し番号	該当ページ (改正版要領)	該当行	現行	改正後
			請年度は含みません。申請日の属する年度より前の3事業年度に技能実習を修了した者に係る実績を記載すること(以下② ③欄も同様)。 ※A及びBそれぞれについて、参考様式第 1-24 号別紙を添付すること。 <u>(新設)</u>	請年度は含みません。申請日の属する年度より前の3事業年度に技能実習を修了した者に係る実績を記載すること(以下② ③欄も同様)。 ※A及びBそれぞれについて、参考様式第 1-24 号別紙を添付すること。 <u>□ 新型コロナウイルス感染症に関する水際対策に係る日本への入国制限の影響により、当該年度における実績がなく、更に過去の年度に遡って実績を記載する場合は、左記□にチェックを入れた上で、記載した実績の年度を下記のカッコに記載すること。</u> <u>(年度 / 年度 / 年度)</u>
7		1 技能等の修得等に係る実績 II	① 分母 計 名(A+B) A 第2号修了者 計 名(a+b) a 現行制度 第2号修了者 名 — やむを得ない不受検者 名 = 名 b 旧制度 第2号受検者 名 ※旧制度について、平成 29 年7月1日前の受検者はその全てを含めないことが可能であるが、同日以後の受検者は必ず含めること。	① 分母 計 名(A+B) A 第2号修了者 計 名(a+b) a 現行制度 第2号修了者 名 — やむを得ない不受検者 名 = 名 b 旧制度 第2号受検者 名 ※旧制度について、平成 29 年7月1日前の受検者はその全てを含めないことが可能であるが、同日以後の受検者は必ず含めること。

通し番号	該当ページ (改正版要領)	該当行	現行	改正後
			B 第3号修了者_____名 — やむを得ない不受検者_____名 =_____名 ※直近3技能実習事業年度(4月1日～翌年3月 31 日)に申請年度は含みません。申請日の属する年度より前の3事業年度に技能実習を修了した者に係る実績を記載すること(以下② ③欄も同様)。 ※A及びBそれぞれについて、参考様式第 1-24 号別紙を添付すること。 <u>(新設)</u>	B 第3号修了者_____名 — やむを得ない不受検者_____名 =_____名 ※直近3技能実習事業年度(4月1日～翌年3月 31 日)に申請年度は含みません。申請日の属する年度より前の3事業年度に技能実習を修了した者に係る実績を記載すること(以下② ③欄も同様)。 ※A及びBそれぞれについて、参考様式第 1-24 号別紙を添付すること。 <u>□ 新型コロナウイルス感染症に関する水際対策に係る日本への入国制限の影響により、当該年度における実績がなく、更に過去の年度に遡って実績を記載する場合は、左記□にチェックを入れた上で、記載した実績の年度を下記のカッコに記載すること。</u> <u>(_____年度／ _____年度／ _____年度)</u>